学校番号	３０３２Ｂ

令和８年度　農業科

教科	農業	科目	農産加工と商品開発ア	単位数	１単位	年次	２年次後期
使用教科書							
副教材等	「食品製造」実教出版						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，農産加工に必要な知識・技術の習得をめざします。また、農場生産物を用いた加工品開発への取り組みを通じ、商品開発の手法なども学びます。
２・３年継続履修科目です。

２　学習の到達目標

（1）農産加工と商品開発について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
（2）農産加工と商品開発に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
（3）農産加工と商品開発について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	農産加工と商品開発について体系的･系統的に理解しているとともに,関連する技術を身に付けている。	農産加工と商品開発に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農産加工と商品開発について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	食品製造の意義と動向	○食品製造の意義 ○食品産業の現状と動向	a: 食品製造に関する基礎的な知識を身に付け、食品産業の現状や社会的な役割について理解している。 b: 食品製造の意義ついて思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 食品産業の現状と動向について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	レポート 単元考査	発表態度	授業観察 実習記録
	食品製造の基礎	○食品の分類 ○身近な食品の科学	a: 食品の分類に関する基礎的な知識を身に付け、日常生活における加工食品の重要性を理解している。 b:身近な食品の科学について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 身近な食品の科学について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	レポート 単元考査	発表態度	授業観察 実習記録
	食品の変質と貯蔵	○食品の変質とその原因 ○食品の貯蔵法	a: 食品の変質とその原因に関する基礎的な知識を身に付け、食品に応じた貯蔵法の重要性を理解している。 b:食品の変質とその原因について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 食品の貯蔵法について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	レポート 単元考査	発表態度	授業観察 実習記録
	農産加工品の開発	○農業の六次産業化 ○商品開発の手法	a: 六次産業化に関する基礎的な知識を身に付け、商品開発の重要性を理解している。 b:六次産業化について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 商品開発について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	レポート 単元考査	発表態度	授業観察 実習記録 ワークシート
	農産物の加工	○野菜類の加工 ○果実類の加工 ○みその製造 ○商品開発(企画、試作)	a: 農産物の加工に関する基礎的な知識を身に付け、その技術を適切に活用している。 b: 農産物に応じた加工について思考を深め、加工品の考案など、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 農産物の加工について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	実習記録 単元考査	授業観察	授業観察 実習記録

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度